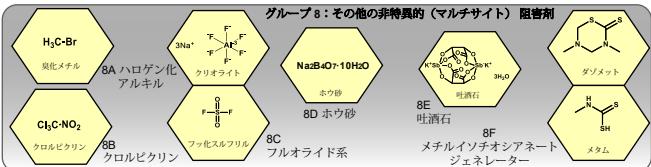
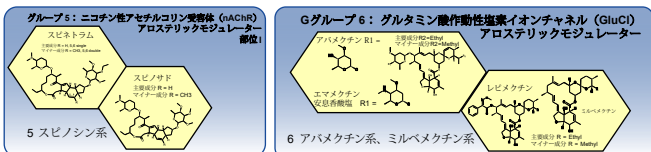
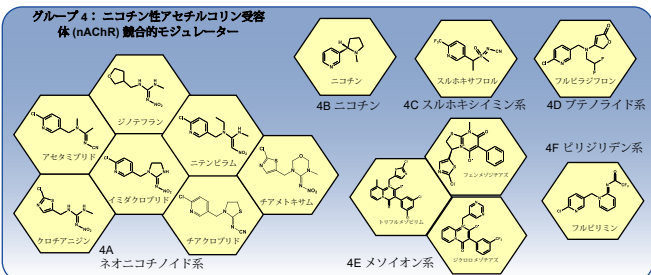
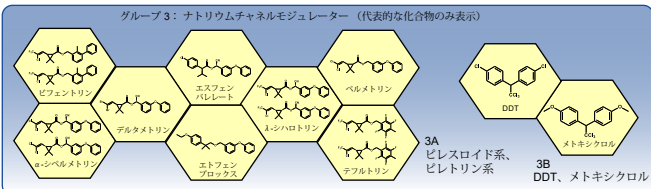
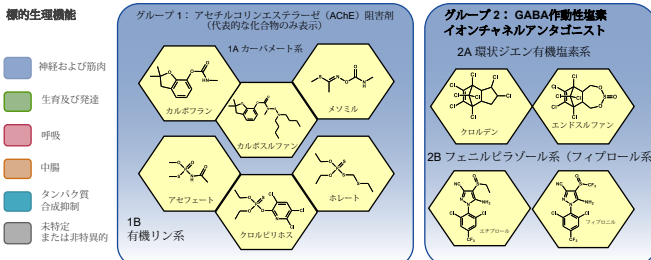


- 神経および筋肉
- 生育及び発達
- 呼吸
- 中腸
- タンパク質合成抑制
- 未特定または非特異的



グループ:

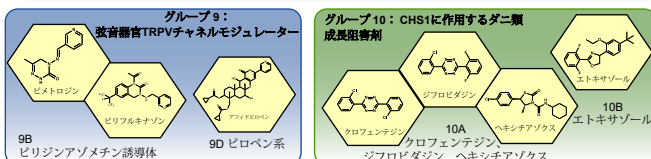
- 異なるMarkグループの化合物を交差するは順番にまたはローテーションを使用することにより、作用点変異により抵抗性個体の選抜を抑える
- 薬剤特性と作用物の spray window) との完全な一致に達してしまふ。同一薬剤を複数回散布すること、それぞれのブロックでは可能だが、散布する世代ごとの作用機種の薬剤を多用するべきでありな。散布する薬剤は異なるべきである。
- 標的種が共通したとき、別のグループは7グループ以内でのローテーション禁止の対象からは除外される。グループ8はトルチサイト阻害剤、グループ13(殺殺菌剤)、および全てのUNグループ (UN, UNB, UNE, UNF, UNP, UNQ, UNR,およびUVN)である。

サブグループ:

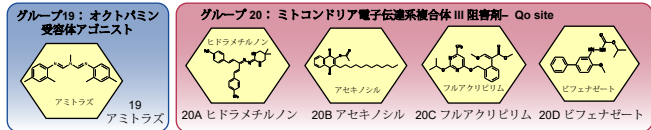
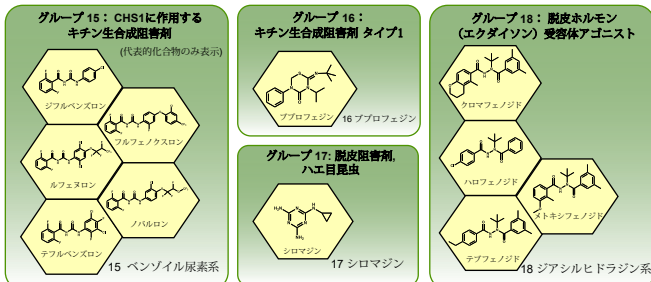
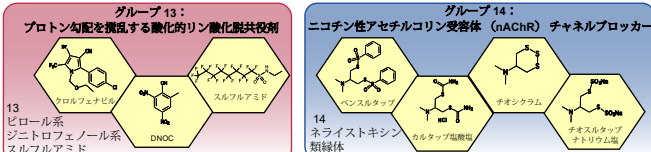
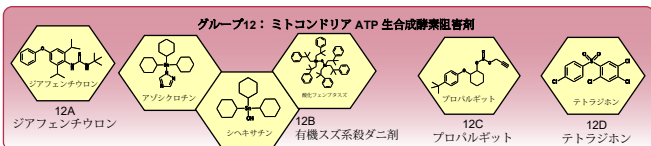
- ・同じ作用機を持つサブグループに属すると考えられるがうち中と明らかに構造が異なる化合物を特記することを示します。
- ・サブグループAに固有な物質特性に結びつくとされる化合物中では構造が異なる化合物の存在を暗示し、代表例による説明が生じるリスクが小さいことが期待される異性体で化学構造が異なることを示します。
- ・サブグループ間で交差反応性の生じる可能性はグループ間の場合と比較すると高いことから、サブグループ間でローテーションを行うことは代替手段が無く、交差反応性は暫定的に限り、指導員の助言に従い実施し得るべきものです。この例外は暫定であり、代替オプションを選択する必要があります。

Insecticide Resistance Action Committee

殺虫剤作用機構分類表

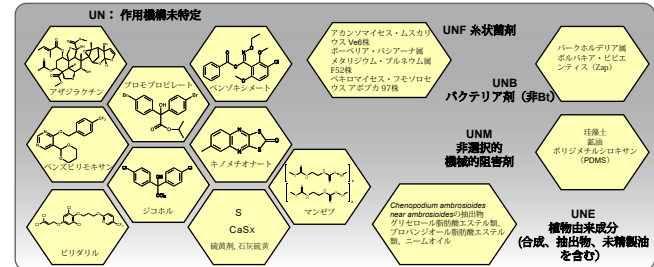
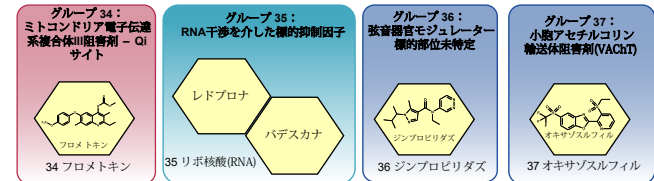
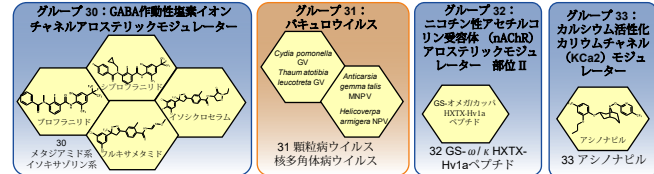
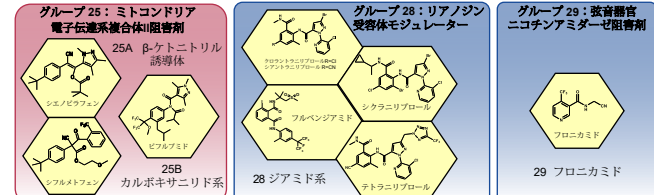
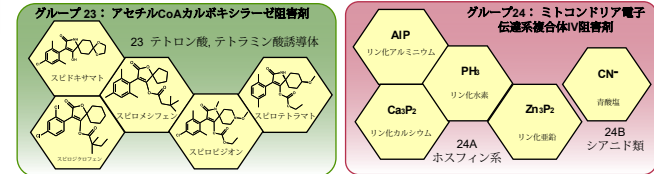
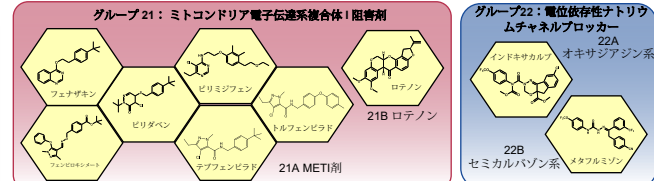


グループ 11：微生物由来 昆虫中腸内膜破壊剤

[illegible]

免責事項: **ProLife International** 及び **IRAC** は、正確で信頼できる情報を提供するものではなく努力をしていますが、そのような情報の正確性、完全性、有効性、適当性、またははしを担保するものではありません。有効成分の **IRAC** コードリストの掲載は、そのものの作用機序の科学的評価に基づくものであり、特定の製品の使用に関する保証や有効性の判断を提供するものではありません。

ProLife International 及び **IRAC** は、提供する情報の使用、参照、または信託に起因するあらゆる種類の損害について責任を負わず、一切の使用を明示的に否決します。セクターまたは特定の登録機種のリストの掲載は特定の用途での使用の適当性と理解されはなりません。使用の目的は、各ユーザーは使用する国での現在の登録機種のリストを確認し、その国が承認した用法と指示に厳密に従う必要があります。

[illegible]